

公設地方卸売市場の 今後を問う！



齋藤 昌之
議員

問 市の責務として市場の将来像を示し、その上で公設か民設かの検討がなされてこそスムーズな民設民営への移行が可能になると考えるがどうか。

産業観光部長

市が考える市場のあるべき姿、市場の開設候補者が目指している健全な経営のできる民営市場の方向性は共通している。この方向に向かつてともに進み、民営化を進めることが市の責務と考え、今後も民営化に向けた協議の中でスムーズな移行ができるよう努めていきたい。



▲公設地方卸売市場

◆小規模校の将来展望

問 児童数の減少により、小学校によっては平成29年度から複式学級になる可能性もあると聞くが、どのように対応するのか。

教育長

複式学級では一人の担任で2つの学年を指導することになることから、担任以外でも一人の職員を配置できるように検討していきたい。また、複式学級の授業の仕方や教材の作成についても研究していきたい。

地方自治体の長としての 思い・考え方は！



横山 育男
議員

問 地方自治体の財政が厳しい中、長として多様化する市民ニーズに応えたくても難しいこともあり、日々悩み苦しんでいると思うが、率直な心情を聞きたい。

市長

自分の人気のことだけを考えると財政的な制約も考えず要望に応えていけばよいわけであるが、それでは後々にツケを残していくことにつながりかねない。常にまち全体のことを考え、市政運営に臨んでいきたい。

◆観光行政

問 外国人観光客向けに、野点^のでのおもてなし、着物姿や武士姿の体験を提案してきたが、どのように対応しているのか。

産業観光部長

野点でのおもてなしは足利学校などの催事において実施され、今後も継続的に行っていく。着物の着付体験は、まちなか遊学館のリニューアルに合わせ積極的に取り組み、鎧については今年度新たに甲冑を制作し、現在、観光協会ですべて所有しているものと合わせ、着付体験を実施していきたい。



防災対策の一環として 中橋のかけかえを！



西田 智男
議員

問 中橋付近の堤防をかさ上げすることになれば、橋のかけかえが必要となる。その場合には、国及び県との連携が必要となるが、現在の取り組み状況について聞きたい。

市長

国の呼びかけにより県、市の三者で、より具体的な協議を平成27年にスタートさせた。現在、検討委員会を立ち上げる準備をしており、引き続き関係機関と積極的に協議を進めていきたい。



▲織姫山から望む中橋

問 フラワーパーク周辺道路の渋滞は地元住民の生活に影響を及ぼしており、対策を講じる必要があると考えるがどうか。

市長

ことし日光市が導入したパーク・アンド・バスライドは渋滞緩和策として一定の効果を上げ、利用者から好評であったと聞いている。この方式は目的地に直接自動車で行くのではなく、周辺の駐車場を利用し、そこからはバスで目的地に向かうものである。本市においても関係職員で構成する交通対策委員会を立ち上げ、研究・検討しているところである。